

2011年7月

# 遠山藤原学校研修

—長野県最南部の遠山郷で、藤原直哉と21世紀的ライフスタイルを学ぶ—

**特集：遠山郷で21世紀を学ぶ2日間**  
**—7月末：遠山郷で精神修養の実習—**



研修日程：2011年7月30日（土）・31日（日）の2日間

研修場所：長野県飯田市南信濃地区（遠山郷）

研修主催：シンクタンク藤原事務所

旅行手配・バス運行：マツカワ観光バス株式会社

## < 1、研修の内容 >

このたびは、2011年7月遠山藤原学校研修の資料請求をしていただき、まことにありがとうございます。遠山郷は長野県の最南端、飯田市の南信濃・上村地方の山深い谷にあり、飛騨の白川郷、越後の秋山郷と並んで、日本三大秘境のひとつとされています。

国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山郷の霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉、遠山温泉郷「かぐらの湯」、日本のチロルと言われる下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水など、数多くの伝統文化や雄大な自然が残っており、人と自然の本物の共生を体験したい人には、絶対お勧めの地域です。

さらに遠山郷は人情の里でもあります。遠山郷の人たちはとても人情味溢れた人たちで、特に都会の人たちとの交流が大好きです。そのため山村にありがちな閉鎖的で暗い雰囲気ではなくて、底抜けに明るくて建設的な雰囲気を、ここを訪れるみなさんに感じていただくことができます。特にこの研修では夜の懇親会に地元の有志をお招きして、共に食卓を囲み、お酒をいただき、楽しく交流していただきます。そうした心のふれあいがとても自然に、楽しく行われるのも、人情の里、遠山郷の非常に大きな魅力です。

4年前から始まった遠山藤原学校、遠山郷の休日は、毎年参加者が増えていまして、今年も3月から11月までの毎月開催です。そして今年の遠山藤原学校研修のテーマは「遠山郷で21世紀を学ぶ2日間」です。遠山郷は一言で言えば里山に囲まれた地域です。里山というのは、人が住む里と、人が行かない深山の間にある山のことで、里に暮らす人たちの生活のために手を入れられている山のことです。里山では人と動物、自然が共生していて、本当に日本の原風景とも言えるような姿がそこにはあります。特に戦後の近代化のなかで全国各地の里山が荒廃し、自然の生態系や人との共生生活が崩れてしまった場所が多く、遠山郷も例外ではありません。既に限界集落になっている場所も多い遠山郷では、我々のように外から来た人たちも手伝って、何とか里山を復活し、遠山郷にかつての賑わいを取り戻そうという動きが本格化しつつあります。そこで今回の研修では里山の魅力をみなさんに味わっていただき、里山を中心にした日本の原風景を堪能していただき、その「なつかしい未来」の風景のなかで、21世紀を明るく元気に生きるためのさまざまな勉強をしていただきます。

まず、1日目は12時30分に、遠山郷の中心、和田地区にあります国道152号線沿いの道の駅「遠山郷」内の、アンバマイ館という遠山郷観光協会の施設に集合していただきます。電車でお越しの方は、まずJR飯田線の平岡駅までお越しくください。東京方面からお越しの方は、東京8時33分発のひかり505号にご乗車いただき、豊橋で飯田線の特急伊那路1号に乗り換えて、平岡には11時57分に到着します。

JR飯田線の平岡駅から道の駅「遠山郷」までは乗り合いタクシーをご利用ください。お1人650円、所要時間約20分、特急の到着に連絡していますので、下車後、駅前広場まで階段を下ってください。そこでワンボックスタイプの乗合タクシーにお乗りください。平岡駅の予定発車時刻は12時10分です。また自家用車でお越しの方は、中央自動車道の飯田、松川インターチェンジから約1時間です。

さらに今年から遠山藤原学校研修では、往復とも新宿発着の貸し切りバスが出ます。新宿駅西口に1日目の午前6時45分に集合し、午前7時に出発。遠山郷には乗り換えなしの5時間半の旅で12時30分に到着します。のんびりバスに乗って遠山郷へ、お時間の許す方は、ぜひバスでのんびりゆったり、東京から遠山郷へ、直通貸し切りバスでお越しく下さい。

さて、集合場所の「アンバマイ館」という名前の由来ですが、「あんばまいか」というこの地方の方言からとったもので、「遊びましょう」という意味です。方言には標準語にはない温かみがあります。また遠山郷では方言で、よく語尾に「だに」をつけます。地元の方と話をすると必ずといっていいほど聞くことができる方言です。

今回の研修ではアンバマイ館に集合してから、みなさんに自己紹介をしていただきます。

それから地元の温泉施設、かぐらの湯内にある食堂**味ゆ〜楽**で昼食にします。味ゆ〜楽の料理長はかつて京都で日本料理屋を経営しておられたバリバリの板前さんで、74歳にして遠山郷に1ターンされた方です。熟練された京都出身の料理人が作る秘境・遠山郷の料理をどうぞ堪能ください。またここにはかつて藤原事務所で働いていた若者が、食堂の料理人として働いています。今や若者が本気で限界集落に住んで仕事をする時代が来ているのです。

昼食後は遠山郷の木沢地区にある、木造校舎の廃校を利用した地域活性化施設、**旧木沢小学校**に向かいます。旧木沢小学校は平成3年に休校、平成11年に廃校となった地元の小学校で、現在に残る懐かしい木造校舎は、昭和7年に地元の人々の情熱によって建てられたものです。そのため廃校後も何とかこの木造校舎を保存し、同時にここを地域活性化の拠点とすべく、地元の有志が**木沢地区活性化推進協議会**という団体をつくって、木造校舎の維持管理を行っています。校内の教室には遠山郷の霜月祭り、地元を走っていた森林鉄道である**遠山森林鉄道**、南アルプスの登山道整備などを行っている**遠山山の会**、昭和時代の遠山郷の写真などが展示されているほか、藤原直哉の蔵書3千冊を寄贈した**藤原文庫**もあります。さらにここには年間を通じて多くの方が見学に訪れ、また空き教室を利用した講演会や集会、演奏会、映画の撮影などがたびたび開かれていて、まさに地元の方と来訪される方との貴重な交流の場にもなっています。そしてこの小学校のすぐ隣に**遠山藤原学校**の事務所があり、その隣には、**遠山藤原学校観光農園**があります。この農園は廃耕地となっていた畑をお借りして、当社で募った遠山郷ボランティアと地元のみなさんが力を合わせて3年前に開いたばかりの農園で、遠山藤原学校における木沢地区の里山整備の拠点にしようとしている農園です。

まずここで遠山藤原学校研修講演第1部「**太平記を傍らに藤原直哉の時局展望**」となります。全国各地の藤原塾のように2時間たっぷり時局と今後の行方を考えます。そしてその時に、鎌倉幕府の衰退滅亡から南北朝時代の攻防を活写した日本中世の軍記物語、太平記を引用しながら、ここはこうあるべき、ここはこうすべきというトップリーダーのあるべき姿勢を考えます。ただし、遠山では録音はなしにして、ざっくばらんに世のなかの情勢とこれからどうするかをお話します。**録音なしのざっくばらんな講演**と、**太平記の勉強の同時進行**は全国の藤原学校・藤原塾で**遠山藤原学校だけ**になります。

その後、観光農園で2時間ほど農業体験を行います。遠山藤原学校スタッフの皆さんのリードで、ご参加の皆さんに季節に合わせた農作業を行っていただきます。農作業はみんなでやるととても楽しいものです。遠山郷ののどかな里山の中に広がる観光農園で、自然と触れ合う楽しいひと時をお過ごしください。またここでは21世紀の肥だめとして注目されている新しい**複合発酵技術**を使った液肥を作り、散布しています。その様子もご覧いただけます。

農作業のあとは、**かぐらの湯**でゆっくりと疲れを癒していただきます。かぐらの湯の源泉は、全国でも珍しい43度の高濃度塩化物温泉で、体がよく温まり、浴室内で温泉を飲むこともできます。この地域は日本列島を東西に走る**中央構造線**という大断層のために地形が非常に複雑で、地質学的にも謎が多い場所です。この温泉もそういう複雑な地質が生んだ珍しい温泉で、豪快な雰囲気が多くファンを惹きつけています。

そしてお泊りは八重河内地区にある「**いろりの宿 島畑**」です。遠山郷の郷土料理を囲みながら、地元の方々と交えての夕食、懇親会は、いつも大変和やかに、元気いっぱい盛り上がります。ご参加のみなさん同士の交流を深めると同時に、遠山郷の地元の皆さんも大変人情豊かですから、地元の皆さんとの交流も是非深めて、時間の許す限り遠山郷の料理と酒と人情を味わってください。

また二次会にご参加いただける方は、遠山郷で都会の雰囲気が味わえるカラオケ・スナック「**セラード舞夢**」にてお楽しみください。

二日目は旅館で朝食をいただいた後、和田地区の中心街、江戸時代から伝わる国道152号線・**秋葉街道**の宿場町、**和田宿**を通過して、この地域を治めていた**遠山氏**の菩提寺、**龍淵寺**に行きます。そして境内に沸く**観音霊水**をいただきます。観音霊水は江戸時代に徳川氏に滅

ぼされたこの地域の豪族、遠山氏の居城に4百年以上前から湧いているお水で、真夏や早魃でも枯れずにいつも冷たくておいしいお水がコンコンと湧いています。そのお水を近年専門家に調べてもらったところ、カルシウムやマグネシウムの含有量が日本で最も多い、すばらしい名水であることがわかり、最近では地元や近郊の方はもちろんのこと、東京や大阪から百リットルも2百リットルもお水を汲みに来る方がおられます。こういう硬水は味にクセが強いことが多いのですが、観音霊水は硬水でありながら大変口当たりがよく、特にコーヒーや紅茶にして飲むとおいしく、また日持ちが大変良いので、非常用のお水としても汲みに来る方が絶えません。また境内には樹齢5百年の**観音大杉**があります。これは根元が一体となった4本の杉で、家族和合のしるしとして、参詣する人が絶えません。

そして龍淵寺では大変人気の**和尚さん**にお写経と座禅のご指導をしていただきます。龍淵寺の和尚さんは若くて行動的でとても優しい方で、地元の2ヶ所で写経会を月一回開催されておられ、10年で納経8万巻を達成することができました。それらのお写経は境内に最近建てられた光堂という大変きれいな観音堂に奉納されています。

それから観音霊水の隣にある「**殿町の茶屋**」に行きます。ここは地元の女性が経営しているお饅頭屋さんで、名物の**ふじ姫饅頭**はその日の朝に作って売切れたら終わりという非常に人気の高いお饅頭です。遠隔地から来られる方はどうしても遠山郷に来るのが午後になってしまい、何度来ても売り切れで食べられないという幻の饅頭でもあります。よもぎとそばの2種類の饅頭が8個入って1千円のふじ姫饅頭は、遠山郷の外はもちろんのこと、遠山郷のなかでもこの殿町の茶屋でしか販売されておらず、ファンが絶えません。さらにここではお店の方がお客さんにお茶やお漬物を接待してくださり、多くの方が地元のみなさんの暖かい人情に触れて感激していかれます。

その後、八重河内（やえごうち）地区にある**陶芸館**で、**遠山焼**の陶芸を体験していただきます。なぜ遠山焼なのですかとご主人に問うと、遠山で焼いて遠山で売っているからだという答えが返ってきます。何かすごく素朴で気持ちがふわっと明るくなるお話です。陶芸館では郷土色豊かなさまざまな焼き物を製造販売していますが、今回は誰でも体験できる陶芸として湯飲みを作ってください、後日焼き上がったものを宅急便でご指定の場所までお送りさせていただきます。遠山郷で土をこねて湯飲みを作り、それを生活の一部にする。まさに21世紀的な生活のあり方だと思います。

それから南和田地区にある「**天仁の杜（てんじんのもり）**」に行って、ちょっと遅い昼食をおそばで頂き、その後、**そば打ち実習**を行います。ここは環境学習のための野外体験施設で、地元の方の指導のみなさんにそばを打っていただき、お土産にお持ち帰りいただきます。遠山郷ではおいしいそばが採れるので、家庭で普通にそばを打って食べることがよくあります。どうぞ皆さんもおいしいそばを打って、遠山郷の夏を味わってください。

そしてその後、同じ会場で2時45分から3時25分まで遠山藤原学校研修講演第2部「**インターネットラジオ公開録音**」を行います。火曜日にアップする私のインターネットラジオの番組2本を皆さんの前で公開録音します。その後、引き続き遠山藤原学校研修講演第3部「**藤原文庫の一冊から**」です。みなさんに発想を広げてもらうため、木造校舎の旧木沢小学校の図書室に寄贈した藤原直哉の約3千冊の蔵書の中から、私がこれは今皆さんに知ってほしいと思う内容の本を一冊取り上げて、これからの人生に参考となるお話をさせていただこうと思います。

その後、午後3時45分に天仁の杜にて解散。お車を道の駅「遠山郷」に駐車された方、電車でお帰りの方はそれぞれ道の駅「遠山郷」、平岡駅まで車でお送りいたします。電車で東京方面にお帰りの方は、平岡を16時42分に出る特急伊那路4号で豊橋に行き、豊橋からひかり526号に乗り換えて、東京には20時10分に到着します。また貸し切りバスで新宿にお帰りの方は天仁の杜からそのまま新宿までバスでお送りいたします。

今回も盛りだくさんの内容ですが、縁ある数多くの方々に遠山郷の自然と人情、そしてそのなかで生きる喜びを味わっていただき、遠山郷の里山に遊び、またよく学んでいただいて、

遠山郷のファンとなり、21世紀を明るく元気に生きるための、たくさんの知恵と実力を得ていただきたいと思います。一人でも多くの方のご参加を心からお待ちしております。

2011年6月吉日  
シンクタンク藤原事務所  
会長・経済アナリスト 藤原直哉

## < 2、研修日程表 >

7月30日（土）

時間	予定	写真
6:45	集合 バス乗車の方、新宿駅西口、工学院大学西側集合	
7:00	出発 貸し切りバスが新宿を出発する時刻	
12:30	集合 <u>道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館に集合</u> 研修の説明と参加者の自己紹介、スタッフ挨拶	
12:45	昼食 かぐらの湯内、「味ゆ一楽」にて	
13:15	出発 木沢地区に向けて出発	
13:30	到着 旧木沢小学校到着 講演 「太平記を傍らに藤原直哉の時局展望」	
15:30	実習 遠山藤原学校観光農園にて農業体験	
17:30	出発 和田地区に向けて出発	
17:45	到着 遠山温泉郷「かぐらの湯」で入浴	
18:30	出発 八重河内地区へ	
18:45	夕食 いろいろの宿、島畑にて夕食、懇親会  <u>日差しが強いので必ず帽子をお持ち下さい</u>  <u>観音霊水を汲んで帰られる方は、ペットボトルやポリタンクをご用意下さい。</u>  <u>農園作業をしますので、汚れてもよい作業着、軍手をお持ちください。長靴は当方で用意します。</u>  <u>朝夕は冷え込むことがありますので、念のため薄手の上着をお持ちください。</u>  <u>なお、道路に不通箇所があったり危険だったり悪天候の場合には、臨機応変に迂回します。また山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。</u>	
		龍淵寺
		
		かぐらの湯
		
		遠山郷の名物

7月31日(日)

時間	予定	写真
6:30 7:00 7:45	起床 朝食 出発 いろいろの宿 島畑 和田地区へ向けて出発	
8:00	到着 龍淵寺に到着 観音霊水、観音大杉、殿町の茶屋等見学	
9:00 10:30	実習 出発 龍淵寺にてお写経、座禅の実習 八重河内地区へ出発	
11:00 12:30	実習 出発 陶芸館にて陶芸実習 南和田地区へ出発	
13:00 13:30	到着 実習 天仁の杜にて昼食 (おそば) そば打ち実習	
14:45 15:25	講演 講演 インターネット放送公開録音 「藤原文庫の一冊から」	
<u>15:45</u>	終了 解散 天仁の杜で解散 新宿行きの貸し切りバス出発  電車でお越しの方は、 <b>JR 飯田線</b> の平岡駅まで、 遠山郷スタッフの車でお送りします。  お車でお越しの方は、道の駅「遠山郷」までお送 りします。  豊橋方面行特急は 16:42 発です。	
<u>21:15</u>	到着 予定 <u>貸し切りバス新宿到着 (渋滞で遅延する可能性が ありますので予めご了承ください)</u>	

### < 3. 研修費用 >

大人 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 30,000円 新宿からご参加 35,000円

学生 (大学生・専門学校生以下、中学生以上) 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 15,000円 新宿からご参加 20,000円

子供 (小学生以下) 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 5,000円 新宿からご参加 12,000円

なお、お食事とお布団、バスの座席の事前のご用意が必要でない乳児は無料です

#### (1) 研修費用に含まれるもの

・ 宿泊料金	原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、  いろいろの宿 島畑 〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内580 TEL 0260-34-2286 FAX 0260-34-2281
・ 食事料金	日程表に記載された昼食2回、夕食および懇親会1回、朝食1回 (なお子供料金にてご参加の方は、1日目の夕食がお子様定食になります)
・ 入浴料 ・ 講演料 ・ ガイド料 ・ 入場料 ・ 遠山郷内交通費 ・ 旅行保険料	日程表に記載されたかぐらの湯の入浴料、藤原直哉講演会の講演料、旧木沢小学校管理費および農業研修ガイド料、お写経・座禅費用、陶芸実習費用、そば打ち実習費用、研修中の遠山郷内の交通費、下記旅行保険料、新宿からご参加の方は新宿・遠山郷間貸し切りバスでの交通費
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉
・ 旅行保険	(限度額お一人様死亡障害2千万円/大人・5百万円/15歳以下)

#### (2) 研修費用に含まれないもの

・ 個人的性質の費用	タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします
------------	--

### < 4. 旅行手配およびバス運行 >

マツカワ観光バス 株式会社	〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島1909-2 <本社/営業所> TEL 0265-36-2345 (代) FAX 0265-36-6060 国内旅行業務取扱管理者：松村 康文	一般旅客運送業 : 新自旅第771号  長野県知事登録旅行業 : 第3-442号  社団法人全国旅行業協会正会員
------------------	--	--

## < 5. 研修要領 >

募集人員	<p>20名（最小催行人数：10名）          なお、先着順にお申し込みをお受けし、定員になり次第締め切ります。          参加申込書をシンクタンク藤原事務所宛てにお送りください          （FAX または郵送でお願いします）</p>	
研修代金	<p>2011年7月22日（金）までに、研修代金の全額を以下の口座へお振込みください。          郵便局          記号：10250          番号：89520371          口座名義：有限会社藤原事務所          または          ゆうちょ銀行（郵便局）          店名：〇二八（ゼロニハチ）          店番：028          預金種目：普通預金          口座番号：8952037          口座名義：有限会社藤原事務所</p>	
取消料	<p>お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。</p>	
	<p>出発日の前日より起算して1ヶ月前まで</p>	<p>大人1万円          学生5千円          子供2千5百円</p>
	<p>出発日の前日より起算して2週間前まで</p>	<p>参加費用の40%</p>
	<p>出発日の前々日および前日</p>	<p>参加費用の50%</p>
	<p>出発日の当日又は無連絡不参加の場合</p>	<p>参加費用の80%</p>
	<p>研修開始後</p>	<p>参加費用の100%</p>
研修主催（お問い合わせ）	<p>シンクタンク藤原事務所          〒250-0011 神奈川県小田原市栄町2-13-12 ASUKAビル2F          電話 0465-44-4750          FAX 0465-44-4751           電子メール higuchi@fujiwaraoffice.co.jp          担当 樋口敬子（ひぐち けいこ）   <u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u>  <u>090-3046-6354</u></p>	

## < 6. 研修概要 >

・ 研修名称	2011年7月 遠山藤原学校研修
・ 日時	2011年7月30日(土)・7月31日(日)の2日間
・ 研修場所	長野県飯田市南信濃地区
・ 集合・解散場所	<p><b>現地</b>            集合：30日(土) <u>12:30 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館</u>            解散：31日(日) 15:45 天仁の杜</p> <p><b>新宿</b>            集合：30日(土) <u>6:45 新宿駅西口、工学院大学西側</u> (地図参照)            到着：31日(日) 21:15 新宿駅西口</p> <p>(なお30分から1時間の渋滞を見込んだ時刻を設定してありますが、それを超える渋滞の場合は遅れて到着する可能性があります)</p> <p><u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u>  <u>090-3046-6354</u></p>
・ 研修内容	各種見学、体験、講演など
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉

## < 7. 現地集合・解散場所まで/からの自家用車、電車での交通手段 (ご参考) >

(1) 自家用車でお越しの場合	<p>集合場所：            長野県飯田市南信濃和田 548-1 道の駅「遠山郷」内、            観光案内所「アンバマイ館」            (電話 0260-34-1071)</p> <p>中央高速道 飯田、松川インターチェンジから約1時間            中央高速道 飯田山本インターチェンジから約1時間            東名高速道 浜松インターから兵越峠経由で約2時間半</p>
(2) 電車でお越しの場合	<p>東京方面から            (行き)            東京 8:33 ひかり505号 豊橋 9:59            豊橋 10:08 特急伊那路1号 平岡 11:57            下車後 道の駅「遠山郷」まで乗合タクシーで20分            お一人650円</p> <p>(帰り)            天仁の杜から平岡駅まで車で15分            平岡 16:42 特急伊那路4号 豊橋 18:31            豊橋 18:43 ひかり526号 東京 20:10</p>

## < 8. 注意事項、および持ち物など >

- ・ 日差しが強いので、必ず帽子をお持ち下さい。
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、ペットボトルやポリタンをご用意下さい。
- ・ 農園作業をしますので、汚れてもよい作業着、軍手、帽子をお持ちください。
- ・ 長靴は当方で用意します。
- ・ 朝夕は冷え込むことがありますので、念のため薄手の上着をお持ちください。
- ・ 山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

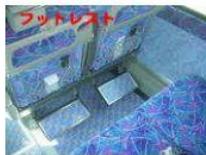
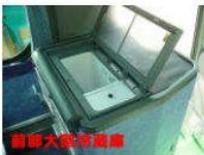
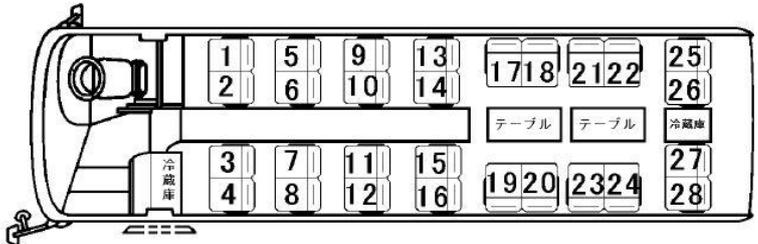
# 希望と心のふれあいの旅



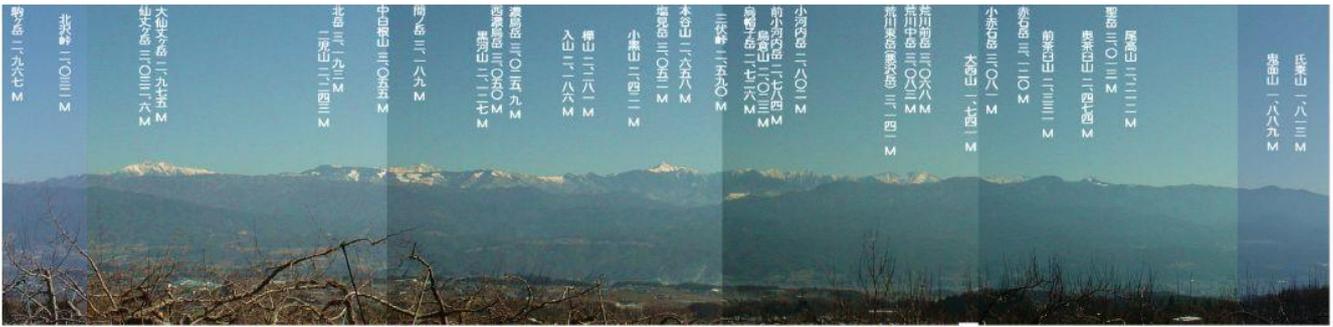
**MATSUKAWA**  
マツカワ観光バス

## 便利・快適・安全を追求したスーパーサルーンバス Isuzu 465 28席

座席配置(サロン状態、座席を回転して前向きにも出来ます)



- 主な装備・仕様
- 足元ゆったりフットレスト付 28 席
  - 全シート可倒式アームレスト
  - シートバックテーブル・シートポケット  
・コップ立て・灰皿
  - 8 席回転サロン (4 席のみでも使用可)
  - サロン席 2 分割テーブル
  - トレー式ルームラック
  - 大型ボトルクーラー (前後 2ヶ所)
  - 大型貫通トランク
  - 大型冷凍冷蔵庫 (60Lトランク内)
  - 給湯ポット
  - 電動格納式カラー液晶TV (前部 20 型, サロン席 15 型)
  - TVチューナー  
ビデオ・CD・DVDデッキ
  - シンセサイザーカラオケ
  - 遠赤外線式ワイヤレスマイク
  - 障害物のないフロントワイドビュー
  - 乗り降りスムーズ フロントタイプ (120mm)



松川町から望む南アルプス(赤石山脈)(上段:南アルプスの山々、中段:前山の山々、下段:伊那山地の山々)



4列20人乗りサロン車

**営業案内**

**貸切バス事業** 一般貸切、各種送迎  
 小さなグループから団体旅行まで  
 旅のガイド付、地域観光案内

**旅行事業** 国内旅行  
 一度行ってみたいかった話題の観光地  
 ご希望に応じたコースの企画・見積と  
 手配・ご案内をさせていただきます



4列21人乗りサロン車

**マツカワ観光バス株式会社**

本社/営業所 TEL 0265-36-2345(代)  
 FAX 0265-36-6060

〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島1909-2  
 一般旅客運送業 北信交旅第813号  
 長野県知事登録旅行業 第3-442号  
 社団法人 全国旅行業協会正会員

新宿から貸し切りバスご利用の方へ

新宿駅西口、貸し切りバス集合場所

7月30日(土) 午前6時45分厳守



新宿駅西口の京王プラザホテル向かい側、工学院大学の西側

# 申 込 書

2011年7月 遠山藤原学校 7月30・31日

ご記入日： 年 月 日

**選択してください** ・ 自家用車で現地ご参加 ・ 電車で現地ご参加 ・ 新宿往復貸し切りバスご参加

フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前			生年	明・大・昭・平 (西暦 年)	
			月日	年 月 日 (満 歳)	
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)					
フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前			続柄	生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
				月日	年 月 日 (満 歳)
フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前			続柄	生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
				月日	年 月 日 (満 歳)
フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前			続柄	生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
				月日	年 月 日 (満 歳)

## ■ご連絡先について

<input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> 会社・学校    ※どちらかにチェックをおつけください。					
会社名 学校名等	※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。 部署： _____ 役職： _____				
ご連絡先 住所	〒 _____				
TEL	( ) _____	—	FAX	( ) _____	—
携帯電話	緊急時 連絡可・不可				
電子メール	@ _____				
喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <small>※部屋割りの参考にさせていただきます。</small>				
●その他ご希望等ございましたらご記入ください。					

シンクタンク藤原事務所 担当：樋口敬子

TEL : 0465-44-4750

E-Mail higuchi@fujiwaraoffice.co.jp

↑ FAX送信先： 0 4 6 5 — 4 4 — 4 7 5 1 ↑